

平成 22 年度入学式



新入生呼名



新入生誓いのことば



1 学年団



校長式辞より抜粋

ただいま入学を許可された283名の新入生の皆さん、盛岡第四高等学校への入学おめでとうございます。皆さんの入学を在校生・教職員一同、心から歓迎いたします。

入学にあたって、次の三つのことを話します。これから盛岡四高の生徒として悔いのないよう充実した高校生活を送ってください。

一つ目は、「選ばれて入学した者としての責任や義務」についてです。本校は多くの中学生からも入学したい高校として人気があるとされています。今年入学した新入生の出身中学校数は、昨年より増えて44校にも及んでおります。

君たちの合格で喜ぶ陰には、毎年数十名の受験生が進路変更を余儀なくされている現実を直視してください。

ヨーロッパに「ノーブレスオブリージュ」ということばがあります。これは、高貴な選ばれた者の義務とか責任などと訳されているようです。皆さんは盛岡四高に高い倍率を乗り越えて選ばれて入学してきた人たちです。そこには選ばれて入ってきた者としての義務と責任があります。そのことをじっくりと考えて高校生活を送ってください。

二つ目は「本校の校名とそれに込められた意味」についてです。校歌に「真理の砦第四高」と歌われているように本校は「盛岡第四高等学校」です。第四は、また大きな志をも意味する大志であります。本校の初代校長目時隆太郎先生が、本校の建学の精神を、新渡戸稲造と宮沢賢治の精神を受け継いでそれを大志（第四）に託されました。この建学の精神が校歌にも歌われている「誠実・敬愛・大志・真理」の四つの目標であり、その実現をめざして全人的な教育活動を行っております。

君たちも大きな志、大志をいだいてこの学びの丘に立っていると思います。高浜虚子の句に「春風や闘志抱きて丘に立つ」というのがあります。これを四高生に託して歌うなら、「春風や 大志いだきて 丘に立つ」といった心境かと思います。

本校への入学は、これから長い人生を送る上での手段の一つにすぎません。今何をすべきか、またしてはならないかをよくわきまえて、自分が掲げた大きな志（目標や夢）の実現に向かって取り組んでください。

三つ目は「自分で考えて行動する習慣を身につける」ということについてです。

中学生と高校生の大きな違いは、自分が主体となる「自主」ということです。今後、多くの場面で自主的な行動が求められます。勿論、先生から指導は受けますが、それをもとに自分で考えて行動することが高校生になるとはるかに多くなります。生徒会活動や部活動の多くも生徒が自主的・主体的に行っています。自主とか主体的にの基本は「考える」ことにあります。盛岡四高の四高は考える意味の思考でもあります。しっかりと考えて行動すれば問題行動も起こりません。人間、できないとかやれないとあきらめてしまつては、そこで全ての可能性が閉ざされてしまいます。ふだんから可能性を信じて前向きに考えて行動する四高（思考）生であってほしいと願います。